

第6回バリアフリー旅行研修会 IN大阪 8月27日報告

研修会の講師

- ・加賀屋グループ大阪営業所長 藤田佳継
- ・みのお山荘風の杜 副支配人 増田哲也
- ・こひつじクリニック 院長 小松邦志（代読）
- ・当社団 理事長 平森良典



◆研修会参加者の声

- ・当事者の視点に立ち、寄り添える心を持つために、館内の椅子を押す・座る生活導線を体感し合い、杖歩行・歩ける車椅子・ほとんど歩けない車いすの方の不安や困りを収集、ソフト面や少額備品でケアできる事の意見を共有することの大切さ。
- ・お客様の目的とやりたいことに対し「おもてなし」（対価を求めず相手の喜びを自分の喜びとする）極める事の大切さ。
- ・「温泉入浴のケア」スタッフの気持ちでやる事とプロ事業所と連携して紹介のみの場合、転倒骨折した時のリスクマネージメントの検討の必要性。
- ・介助・介護だけでなく、看護の安心・安全を受け旅行するために、AEDの設置・救急救命員・看護師・病院の連携などを必要とされる方へ、旅行前の想定外までの打合せ・当日のきめ細かな健康観察で細かな変化をより早く気づき、対処するために救急救命員の取得で、救急や病院へ繋ぐ初期処置の大切さ、旅行でやりたかった事と体調の変化の情報共有の大切さを学びました。
- ・観光産業と介助、特に介護・看護の連携で、サービス・商品・情報を進化させる交流。
- ・ホームページは、ほしい情報を探している方へ選んでいただけるツールの一部、情報公開（旅行業は強み取扱内容・運輸業は車内図面写真・宿泊業は知りたいバリア情報写真）
- ・12月に大阪で「サービス・商品・情報公開」実践報告交流会の再会を楽しみにしています。